

議 長	副議長	事務局長	書 記
			

政務活動費実績報告書

令和 7 年 6 月 23 日

富谷市議会議員 金子 透 殿

会 派 名

代表者氏名

議 員 名

長谷川 る美 

下記のとおり政務活動費を使用したので富谷市議会政務活動費運用指針の規定により、次のとおり報告します。

記

使 途	☐ 調査研究費 ☒ 研修費 ☐ 広聴費 ☐ 要請・陳情活動
実 施 期 間	令和 7 年 6 月 9 日(月)～令和 年 月 日()
実 施 場 所	自宅にて音声データで受講
出席(参加)者名	長谷川 る美
実施(調査)成果	ライドシェアと自動運転は、地域交通維持の有効な手段だが、法規制・技術・運用面の課題が多く、地域の合意形成と持続可能な運用体制づくりが不可欠であることがわかりました。今後そのために段階的な改善と検証を重ねていくことが重要であると思ひました。
行 程	(計画と変更がある場合記載)

※各欄に記載できない場合、別紙添付により提出も可能。



政務活動費 研修報告書

令和7年6月23日

長谷川 る美

研修報告書

地方議員研究会主催セミナー「ライドシェアと自動運転の基礎と課題」参加報告

研修概要

本研修は、ライドシェアと自動運転の現状や、技術的進展と社会的課題などを整理しながら、実際の導入事例と共に体系的かつ具体的に分かりやすく解説されております。

1 ライドシェアの基礎と課題

- ・ライドシェアは、ICTを活用し複数の利用者が車両を共有する移動サービスで、地域公共交通の補完や交通空白地域の解消策として、注目されています。
- ・日本では、法規制や既存交通事業者との調整が課題となっており、安全性確保や運行管理、利用者ニーズに合わせたサービス設計が重要だということです。
- ・さらに、地域ごとに必要なサービスの形が異なるため、導入前に住民や事業者との合意形成は不可欠であるということです。

2 自動運転の基礎と課題

- ・自動運転は、運転手不足や高齢化社会への対応策として期待されています。特に路線バスの代替や、デマンド交通での導入が進んでいます。
- ・実証実験では、「運行速度が遅い」「バス停で正確に停車できない」「手動運転への切り替えが多い」など、技術的な課題が残っています。
- ・技術実証から社会実証、そして社会実装のプロセスが重要であり、単なる技術導入ではなく、地域が持続的に受容できる運用体制やコスト、安全性の確保が必要であるということです。

3 共通する論点

- ・ライドシェアも自動運転も、地域の実情やニーズに合わせて「何が本当に必要か」を見極めることが大切です。
- ・実証運行は「お試し」で終わらせず、持続可能な社会実装に向けて、住民・事業者・行政が連携しながら課題を解決していくことが、求められています。

所感

ライドシェアと自動運転は、地域交通維持の有効な手段だが、法規制・技術・運用面の課題が多く、地域の合意形成と持続可能な運用体制づくりが不可欠であることがわかりました。今後そのために、本市においても、段階的な改善と検証を重ねていくことが重要であると思いました。